保護ジョブの失敗を解決する

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/data-protection/task_resolve_protection_job_failure.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

保護ジョブの失敗を解決する 1
Active IQ Unified Manager で保護ジョブの失敗を解決する 1
Active IQ Unified Manager で失敗した保護ジョブの問題を特定し、是正措置を実行します 1

保護ジョブの失敗を解決する

Active IQ Unified Manager で保護ジョブの失敗を解決する

このワークフローでは、Unified Managerのダッシュボードで保護ジョブの失敗を特定して解決する方法の例を示します。

開始する前に

このワークフローの一部のタスクは、管理者ロールでのログインを必要とするため、各種機能を使用するために必要なロールを把握しておく必要があります。

このシナリオでは、[ダッシュボード]ページにアクセスして保護ジョブに問題がないかどうかを確認します。[保護インシデント]領域に「ジョブ停止」インシデントが表示されており、ボリュームで「保護ジョブ失敗」エラーが発生したことがわかります。このエラーを調べて、考えられる原因と解決策を特定します。

手順

1. ダッシュボードの「未解決のインシデントとリスク」領域の「保護インシデント」パネルで、*保護ジョブが失敗しました*イベントをクリックします。

   イベントのリンクテキストは `object_name:/object_name - Error Name`の形式で記述されます。例： `cluster2_src_svm:/cluster2_src_vol2 - Protection Job Failed。

   失敗した保護ジョブの[イベントの詳細]ページが表示されます。

2. *概要*エリアの「原因」フィールドのエラーメッセージを確認し、問題を特定して、考えられる是正措置を評価します。

   "保護ジョブが失敗した場合の問題の特定と対処策の実施"を参照してください。

Active IQ Unified Manager で失敗した保護ジョブの問題を特定し、是正措置を実行します

ジョブの失敗に関するエラー メッセージを[イベントの詳細]ページの[原因]フィールドで確認し、ジョブが失敗した原因がSnapshotコピー エラーであることを特定します。次に、[ボリューム / 健全性の詳細]ページに移動して詳細情報を収集します。

開始する前に

アプリケーション管理者のロールが必要です。

[イベントの詳細]ページの[原因]フィールドに表示されるエラー メッセージには、失敗したジョブに関する次のテキストが記載されています。

```
Protection Job Failed. Reason: (Transfer operation for
relationship 'cluster2_src_svm:cluster2_src_vol2->cluster3_dst_svm:
managed_svc2_vol3' ended unsuccessfully. Last error reported by
```

```
Data ONTAP: Failed to create Snapshot copy 0426cluster2_src_vol2snap
on volume cluster2_src_svm:cluster2_src_vol2. (CSM: An operation
failed due to an ONC RPC failure.)
Job Details
```

このメッセージから得られる情報は次のとおりです。

- バックアップ ジョブまたはミラー ジョブが正常に完了しなかった。

  このジョブには、仮想サーバー `cluster2_src_svm`上のソース ボリューム `cluster2_src_vol2`と、仮想サーバー「 `cluster3_dst_svm`」上のデスティネーション ボリューム `managed_svc2_vol3`との間の保護関係が含まれていました。

- スナップショット コピー ジョブが `0426cluster2_src_vol2snap`のソース ボリューム `cluster2_src_svm:/cluster2_src_vol2`で失敗しました。

このシナリオでは、ジョブが失敗した原因と考えられる対処策を特定できます。ただし、失敗を解決するには、System Manager Web UIまたはONTAP CLIコマンドを使用する必要があります。

手順

1. エラー メッセージを確認し、ソース ボリュームでSnapshotコピー ジョブが失敗していることから、おそらくソース ボリュームに問題があると判断します。

   必要に応じて、エラーメッセージの末尾にある **Job Details** リンクをクリックすることもできますが、このシナリオでは、クリックしないことを選択します。

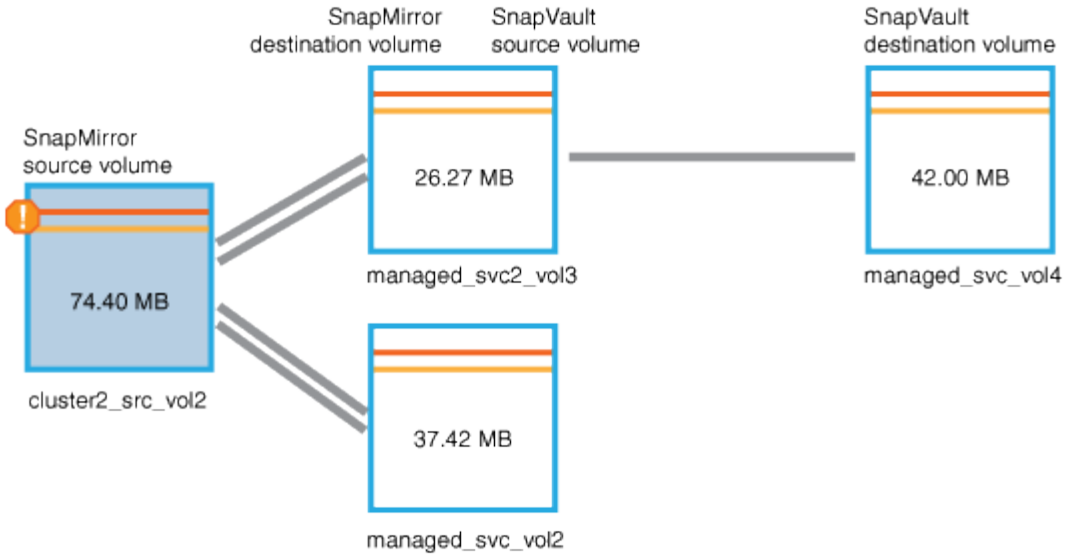
2. イベントを解決するために、次の作業を行います。
   a. 「割り当て先」*ボタンをクリックし、メニューから「自分」*を選択してください。
   b. イベントに対してアラートが設定されている場合は、繰り返しアラート通知を受け取らないように、*承認*ボタンをクリックしてください。
   c. 必要に応じて、イベントに関するメモを追加することもできます。
3. ソースボリュームの詳細を表示するには、*概要*ペインの*ソース*フィールドをクリックします。

   「ソース」フィールドには、ソースオブジェクトの名前が含まれます。この場合、Snapshot コピージョブがスケジュールされたボリュームの名前です。

   ボリューム / ヘルスの詳細ページが `cluster2_src_vol2`に表示され、「保護」タブの内容が表示されます。

4. 保護トポロジ グラフを見ると、トポロジの最初のボリューム（SnapMirror関係のソース ボリューム）にエラー アイコンが関連付けられています。

   また、そのボリュームに設定されている警告とエラーのしきい値を示す水平のバーが、ソース ボリューム アイコンに表示されています。



5. エラー アイコンにカーソルを合わせると、ポップアップ ダイアログが開いてしきい値の設定が表示され、ボリュームがエラーしきい値を超えて容量の問題が発生していることがわかります。
6. 「容量」タブをクリックします。

   ボリュームの容量に関する情報 `cluster2_src_vol2`が表示されます。

7. *容量*パネルを見ると、棒グラフにエラーアイコンが表示されています。これは、ボリューム容量がボリュームに設定されたしきい値を超えたことを示しています。
8. 容量グラフの下には、ボリュームの自動拡張が無効になっていることと、ボリュームのスペース ギャランティが設定されていることが示されています。

   自動拡張を有効にすることもできますが、このシナリオの目的上、さらに調査を進めてから、容量の問題を解決する方法を決定することにします。

9. 「イベント」リストまでスクロールすると、「保護ジョブの失敗」、「ボリュームがいっぱいになるまでの日数」、「ボリュームの空き容量がいっぱい」というイベントが生成されていることがわかります。
10. 「イベント」リストで、「ボリューム容量がいっぱい」イベントをクリックして詳細情報を取得します。これは、このイベントが容量の問題に最も関連していると判断したためです。

    [イベントの詳細]ページには、ソース ボリュームに対して「ボリューム スペースがフル」イベントが表示されています。

11. 「概要」エリアで、イベントの原因フィールドを確認します： `The full threshold set at 90% is breached. 45.38 MB (95.54%) of 47.50 MB is used`。
12. [サマリ]領域の下の[推奨される対処方法]に、推奨される対処策が表示されます。

    [推奨される対処方法]は一部のイベントだけに表示されるため、どのタイプのイベントでもこの領域が表示されるわけではありません。

    「ボリューム スペースがフル」イベントを解決するために実施する推奨対処策をクリックしていきます。

    - このボリュームで自動拡張を有効にします。
    - ボリュームのサイズを変更する。

- このボリュームで重複排除を有効にして実行してください。
- このボリュームで圧縮を有効にして実行します。

13. ボリュームの自動拡張を有効にすることにしましたが、これを行うには、親アグリゲート上の空きスペースと現在のボリューム増加率を確認する必要があります。
    a. 親アグリゲート（ `cluster2_src_aggr1`）を「関連デバイス」ペインで確認します。

    アグリゲートの名前をクリックすると、アグリゲートに関する詳細情報を参照できます。

    ボリュームに自動拡張を有効にするための十分なスペースがあることを確認します。

    b. ページ上部に重要なインシデントを示すアイコンが表示されるので、アイコンの下のテキストを確認します。

    「Days to Full: 1日未満 | Daily Growth Rate: 5.4%」と判断します。

14. System Manager に移動するか、ONTAP CLI にアクセスして `volume autogrow`オプションを有効にします。

    ボリュームとアグリゲートの名前をメモしておいて、自動拡張を有効にするときに参照できるようにします。

15. 容量の問題を解決したあと、Unified Managerの*イベント*詳細ページに戻り、イベントを解決済みとしてマークしてください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。